

体育科 授業改善推進プラン

1 体力測定結果（令和6年度実施）

- ・【全校】全学年で50m走（走力）が全国平均値を下回っている。高学年になると、より全国平均値との数値の開きが大きくなっている傾向がある。
- ・【第1・2学年の課題】1年生は男女ともに50m走（走力）の数値が全国平均値を下回っている。2年生は20mシャトルランの数値が男女ともに全国平均値を5回以上下回っている。
- ・【第3・4学年の課題】3年生は男女ともに50m走（走力）の数値が全国平均値を下回っている。4年生は男女ともに反復横跳び（敏捷性）の数値が全国平均値を5回近く下回っている。
- ・【第5・6学年の課題】5年生は男女ともに50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳びで全国平均値を下回っている。6年生では男女ともに長座体前屈以外の数値で全国平均値を下回っている。

2 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
・意欲的に活動に取り組む児童が多い。 ・リレー遊びでは、チームごとに順番を入れ替える、走り方を考えるなど工夫をして行うことができた。	・主体的に活動に取り組もうとする児童が多く、運動習慣も定着している。 ・友達のよい動きを見て真似ようとする児童は多いが、再現する技能力は低い。	・意欲的に学習に取り組む児童が多く、休み時間も積極的に身体を動かす児童が多い。 ・技能については経験の差、習得している技能の差が大きい。	・意欲的に学習に取り組む児童が多く、休み時間も積極的に身体を動かす児童が多い。 ・遊ぶ量や時間が少ないため、基礎体力や基礎技能が日々の遊びの中で向上させることができていない。	・意欲的に学習に参加する児童が多い。休み時間もすすんで体を動かす児童が多い。 ・体を動かす遊びに広がりがなく、いつも同じ遊びをしている。そのため、基礎体力を日々の運動で向上できていない。 ・複数の動きを組み合わせた運動では、体や用具を操作することに難しさがある。	・身体を動かすことが好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・様々な動きに対して、楽しみながら体を動かすことができるが、自ら工夫して新たな動きを考えることが難しい。 ・チームで協力しながら活動する領域においては、積極的に取り組むことができ、互いに声を掛け合いながら楽しく取り組める。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・理解	・場の設定を工夫したり、運動する場を増やしたりすることで、それぞれの運動の基礎的な動きを身に付けられるようにする。	・基本的な動きを身に付ける活動を通して、体の使い方を知ることや体力向上に繋げる。 ・集団での活動や競い合う楽しさを共有し、仲良く楽しく運動する。	・各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるように、互いに協力し合い運動の楽しさや体を動かす喜びに触れる。 ・タブレットを活用して、自分の動きを客観視することで、身に付けていた知識の根拠を明確にし、理解に繋げる。	・各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるように、互いに協力し合い運動の楽しさや体を動かす喜びに触れる。 ・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。	・友達の間で動きを認める雰囲気づくりをすることで運動の楽しさや喜びを味わい、各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるようにする。 ・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。	・ICT（タブレット）を積極的に活用し、動きのコツが分かる動画コンテンツを見たり、自身の動きを振り返り課題を見付けたりすることができるようにする。 ・運動の楽しさや場の工夫が分かりやすく、見やすい学習カードを作成することで児童が理解できるようにする。
思考・判断・表現	・動きのポイントを捉えて取り組む児童を称賛し、児童とともに動きのポイントを見付けたり、全体で共有したりする。	・運動遊びをする中で、運動の楽しさに触れながら、練習の仕方を工夫したり、選択したりすることができるようにする。 ・グループ活動を通して、互いの動きを見て、考えたことを友達に伝える時間を確保する。	・学習カードを用いて振り返りを行うことで、自分の思考を整理できるようにする。 ・児童同士がお互いの動き良い点や動きのコツを見つけ、思考判断が育つ授業展開に工夫する。	・自らの運動の課題に気付けられるよう、互いに協力し合いアドバイスをしあう場を設ける。 ・課題解決のための方法を客観的に考え、解決できる方法を考えられるようにする。	・学習の始めに試しの活動を行い、自分やグループの課題に気付けるようにする。 ・友達とアドバイスし合う場を設けることで、体の動かし方や作戦を確認しどのようにしたらよいのか考えられるようにする。	・毎時間の授業のめあてを意識して取り組み、児童が考えること、振り返ることが明確になるようにする。 ・児童が考えたことを共有できるように、チームやグループの友達に伝える時間、全体で共有する時間を確保する。
学びに向かう力、人間性等	・グループで活動する時間を作り、友達の良いところや改善点を見付けてコミュニケーションをすることで、交流する場を設定する。	・集団で取り組める遊びを工夫し、順番やきまりを守って安全に運動できるようにする。	・励ましや認めあえるような言葉かけが自然と出てくるような雰囲気づくりを行い、継続して積極的に取り組めるようにする。	・励ましや認めあえるような言葉かけが自然と出てくるような雰囲気づくりを行い、継続して積極的に取り組めるようにする。	・相手を認めたり賞賛したりする声掛けを掛け合う雰囲気をつくることで決まりを守り、誰とでも仲良く運動できるようにする。 ・励ましの声掛けをする雰囲気づくりをすることで、最後まで努力して運動する態度を養う。	・運動に積極的に取り組み、児童や約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている児童を称賛することで、意欲的に学びに向かう児童を育成していく。

※重視する内容は、網掛けで強調する。